



Bouquet

ブーケ

特集

男性から見た女性センター
……
僕たちのブーケ21
……



No.

57

2008.12

contents

特集 座談会 男性から見た女性センター 僕たちのブーケ21	2
「ブーケ21」はこんなところ！	4
企業レポート⑧ キリンホールディングス株式会社	6
ワーク・ライフ・バランスって何② 「カエル！ジャパン」キャンペーン	6
中央区ニュース	7
TOPICS 男女共同参画リーダー研修を実施しました	8

男性から見た女性センター

僕たちのブーケ21



男女共同参画社会を推進する中央区の拠点施設として、平成5年

4月にオープンした中央区立女性センター「ブーケ21」。現在では、男女を問わず多くの方々に利用していただいています。

今回の特集では、三人の男性に出席していただき、男性から見た女性センター「ブーケ21」についてお話を伺いました。

女性センターについて どんな印象をお持ちですか

廣瀬 消費者友の会の定例会で、いつも女性性センターを利用しています。近隣に住む会員が多いのと、バスを利用すれば、あまり歩かなくてすむ点が便利だからです。

勉強会に研修室を利用しますが、1階の交流コーナーを利用するときもありますね。建物が清潔できれい

な点も好感が持てます。

村田 私は自治会の行事に参加したことで、このセンターを知りました。

「BOUQUET」の取材を兼ねてブーケ祭りを見にいき、各部屋をのぞいたので、「ブーケ21」のことは大體承知しています。設備はかなり充実していますね。

矢口 会社が近くにあるので、女性センターの存在は知っていました。これまではどういう目的の施設なのか、というところまで関心がありませんでした。

育児に専念している妻が仕事に復帰するための情報を調べていて、このセンターの事業に関心を持ちました。このたび、男女共同参画リーダー研修（8頁参照）に参加したことで、どのような事業があるのか、などについてイメージをつかむことができました。

男性が利用することに対する 抵抗感はありませんか

廣瀬 私たちの会の代表は女性ですが、男性、女性ということに関係なく、その分野に秀でている人として尊敬しています。

ですから、女性センターを利用することに違和感を感じません。ちなみに、会の男性会員は現在二人です。

また、女性への支援については理解できますし、男女の区別なく、誰もが能力を発揮できる社会であるべきだと、日ごろから考えているからかもしれません。

村田 私も特に感じません。現在は、自主的な活動をしているわけではありませんが、3年前からセンターの講座に参加して学び、男女共同参画推進委員に応募して委員として事業に参画するなど、充実した経験をさ

特集 座談会：男性から見た女性センター 僕たちのブーケ21



廣瀬 明さん
「中央区消費者友の会」副会長。
会の定例会・勉強会などで、月1回以上はブーケ21を利用している。



村田 進益さん
ブーケ21事業協力スタッフ。
広報スタッフとして、打ち合わせや行事・講座などの取材でブーケ21を訪れる。



矢口 和幸さん
10月実施の男女共同参画リーダー研修参加者。
中央区入船の会社に勤務し、ブーケ21は今後利用していきたいと考えている。



せていただいています。

矢口 私も男性だから利用しにくいという抵抗は感じません。

女性センターの男性利用をさらに増やしていくためには

矢口 私の場合は、どういう人が使う施設なのか、当初はイメージがわきませんでした。

女性しか使えないのか、会社で利用してよいのかなどについて、具体的な案内があると利用が増えると思います。

廣瀬 定年を迎えた男性はたくさん

いるはずなのに外で見えないと思ったら、図書館で良く見かけます。きっかけがあれば、私のように女性センターに出入りすると思いますが。

村田 男性の利用者が少ないことは、ライフステージに関係しているとも考えられます。

男性の場合は定年などによる退職後に自分の時間を確保できるということがまだまだ一般的でしょうから、現に働き盛りの世代や就労中の男性たちは、女性センターで活動する時間の確保が難しいということも影響しているのではないのでしょうか。

廣瀬 名称が「女性センター」なので、入りづらいという男性もいるかもしれません。

でも、区民に開かれていて施設だということや、どういう設備が整っているのか、利用のきまりなど、広報や「BOUQUET」を通じてわかりやすく何度でも伝える努力

をすれば、誰もが利用したくなると思います。利用料も高くないです。すね。

今後の女性センターのあり方について

矢口 現在は利用者の年齢層が決まっているように思います。幅広い年齢層が利用できるように、世代間のコミュニケーションを活発にする工夫をしてはいかがでしょうか。

中小企業では、パートタイム勤務が歓迎されていますが、そういった



働き方の人たちが参加できる機会を作ること、利用層が広がることもあると思います。

村田 男女・夫婦が共同で生きがいを得られることも、男女共同参画社会だしたら、妻が働き夫が家事を担うという選択もありだと思います。

誰もが充実した人生を送れるように家庭や社会の役割分担ができる社会づくりについて、男女がともに考える機会を設けてはいかがでしょうか。

廣瀬 女性センターで活動する人たちは、肩書き不要な個人として活動していますが、その姿ははつらつとしています。

会社人間だった男性も、そういった名刺のない社会になじめるようになることで、センターに足を運ぶ、いきいきとした男性の姿が増えてほしいですね。

男性から見た「ブーケ21」への感想やご意見など、大変参考になりました。

これからも、男女共同参画推進としての男性参加をさらに呼びかけていきたいと思っています。

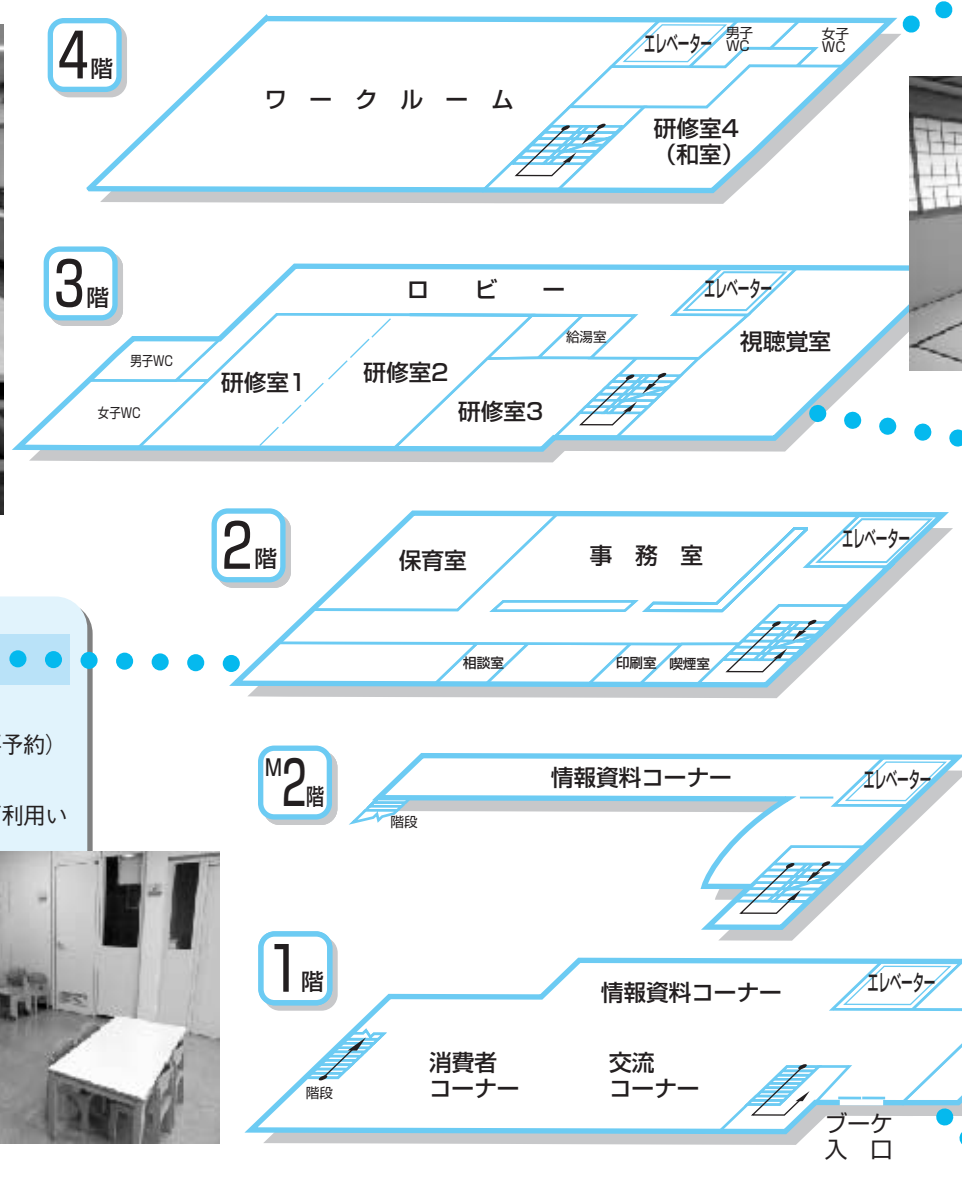
「ブーケ21」はこんなところ！

中央区立女性センター「ブーケ21」では、研修室の貸し出しや、男女共同参画関係の図書・資料の閲覧・貸し出し、講演会・講座の開催や、女性相談などを行っており、多くの方々に利用されています。

今回は、「まだ入ったことはないなあ。」「女性センターってどんなところ？」という方のために、施設の概要を紹介します。



ワークルーム



保育室

2階

相談と支援

- 相談室
女性のさまざまな悩みにお応えします。(要予約)
- 保育室
研修室をご利用の際に、託児の場としてご利用いただけます。
- 印刷室
コピー機や登録団体用の印刷機があります。



保育室

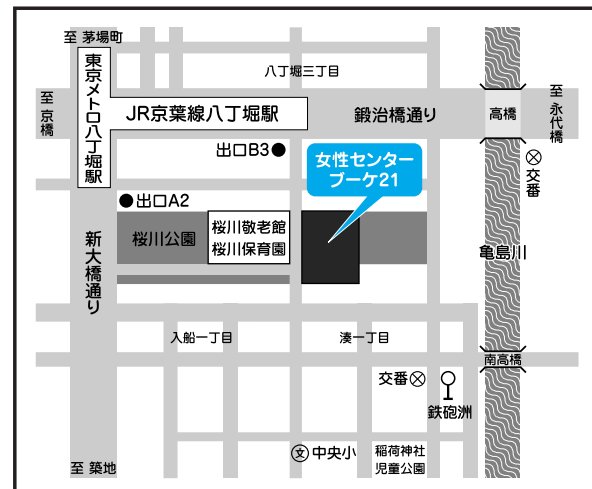
「ブーケ21」女性相談

女性のさまざまな悩みに
専門の相談員が
お応えします。
(要予約)



☎ 03-5543-0653

第3を除く毎週水曜日(祝日を除く) 13時～16時
第3水曜日のみ(祝日を除く) 17時30分～20時30分
※予約受付は、開館時間と同じ



所在地
〒104-0043
東京都中央区湊1-1-1
東京メトロ日比谷線・JR京葉線
八丁堀駅A2・B3出口から
徒歩3分

TEL.
03-5543-0651
FAX.
03-5543-0652

開館時間
午前9時～午後9時
(年末年始、臨時休館日を除く)

4階

学習と実践

- ワークルーム
192㎡の広さを生かし、料理の実習をはじめ多目的にご利用いただけます。
- 研修室4 (和室)
茶道具一式を備えた15畳のお部屋です。



研修室4

3階

学習と研修

- 研修室1～3
研修や学習会、会議などにご利用ください。ホワイトボードやテレビモニター等を備えています。
- 視聴覚室
ピアノを備えており、合唱の練習などにご利用いただけます。



研修室1

視聴覚室

1階
M2階

情報と交流

- 情報資料コーナー
男女共同参画に関する本や資料があります。本の貸出もしています。パソコンも設置しており、団体活動の資料作りにご利用いただけます。
- 交流コーナー
情報交換や交流の場としてお気軽にご利用ください。
- 消費者コーナー
消費者のための情報提供を行います。



1階 交流コーナー

「ブーケ21」Q&A

——松川淳子館長に聞きました——

Q 「女性センター」ですが、男性も利用できますか？
歴 史的経緯をふまえて、「女性センター」と名乗っていますが、もちろん男性にも積極的に利用していただきたい施設です。名称にひるまず、どしどし使ってください。

Q どのように利用することができますか？
グループや仲間同士の勉強会、交流会、料理作りを楽しむ会などのために多様なスペースが用意されています。活動のための複写機なども利用することができます。男女共同参画に関する資料や図書も充実しています。また、こ

で開かれている講座や講演会などに参加して学んだり楽しんだりすることもできます。その多くは託児付きですので、受講の間、小さなお子さんは保育室に預けることもできます。こうしたプログラムは区のおしらせやポスター、チラシなどでお知らせしますので、注意して見て、ぜひご参加ください。

Q これからのブーケ21について
区民・団体の方たちの表現や交流の場としてもさらに充実していきたいと思っています。先日、初めての試みとして、区民スタッフ企画による「一人芝居」を一階で上演し、大勢の方が楽しまれ

ました。今後、展示なども行っていく予定です。また、二階は屋上公園に面していて四季それぞれの風景が展開し、散策や休息に適しています。ブーケ21の魅力の一部として、取り込んでいければと思っています。

——最後にこのイベントを——
男女共同参画社会の推進は、国の最重要課題のひとつであり、ブーケ21はそのための拠点施設です。男性も女性も手を携えて進まないと男女共同参画社会は実現しません。女性だけでなく、男性の皆さんも仲間を見つけない、活動のために、自由な時間にふらりと、ぜひ足をお運びください。

キリンホールディングス株式会社(新川)

キリン・ウイメンズ・ネットワーク 「半歩でもいいから、前へ」

キリンビールをはじめとするキリングループの一つであるキリンホールディングス株式会社の本社は中央区新川にあります。

同社では、男女を問わず、全ての社員がいきいきと活躍し、仕事を通じて社会貢献できる組織・風土づくりを目指し

たキリン版ポジティブ・アクションを2006年に制定し、その活動の大きな柱として、キリン・ウイメンズ・ネットワーク(略称・KWN)を昨年2月に設立しました。多様性推進プロジェクト・リーダーの神元佳子さんに内容を伺いました。



「キリン版ポジティブ・アクション」は、人材の多様性促進が企業競争力を高め、優秀な人材確保が可能にするとの認識のもと、まず社員全体の約2割を占める女性の活躍を支援していこうというものです。

その具体的な活動として、女性社員の連携を図る目的で、女性の活躍推進のための組織として設立したのが、KWNです。

KWNのテーマは、「半歩でもいいから、前へ」で、女性自身が現状維持ではなく、主体的に少しずつでも成長していくことで、生き生きとした組織風土を目指すことが目標です。

KWNでは、推進委員・地域サポートを核にしながら、自己実現や意欲向上のヒントを得るための地域単位での講演会や女性経営職との意見交換会の開催、社内ネットワークによるチームサイトの運用などさまざまな活動を行っています。

また、昨年11月には、推進委員会で各地での意見をまとめた提言を社に対し行い、メンター制度の実現や育児・結婚等による休職や再雇用など各種制度の検討などが行われています。

キリン版ポジティブ・アクションでは、長期目標として、2015年末に女性経営職数を100名程度にすることを掲げています。

「女性経営職数は、昨年末の39名から46名に増加しました。しかし、数値目標の達成以上に、誰もがキャリアアップを目指す職場風土にすることが重要なことなのです。」

最近では、新規採用者の4割が女性です。やる気のある女性社員の能力が発揮できる環境整備をしていきたいと思います。」

目を輝かせて話す神元さんに、KWNが目指す、自らの可能性を広げながら、いきいきと働く女性の姿を見ることができました。



キリンホールディングス株式会社
多様性推進プロジェクトリーダー
神元佳子さん

組織として設立したのが、KWNです。

KWNのテーマは、「半歩でもいいから、

何?

②

ワーク・ライフ・バランスって

「カエル! ジャパン」キャンペーン

ワーク・ライフ・バランスを実現するために、一つ取組んでみよう。

自分自身が少し心地よく働くために、そして、それを周りに広げていくために

例えば

- 会議はみんなで1時間と決めてみる。
- 朝、「to do」リストを作ってみる。

etc



「カエル! ジャパン」キャンペーンとは、ワーク・ライフ・バランス推進のための国民運動を一層効果的に進めるための集中キャンペーンのことです。

平成19年12月に策定された「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」を一人でも多くの方に理解していただき、働く人たちや企業はもちろん、国・地方公共団体なども含む社会全体で、仕事と生活の調和が実現した社会に向けて、取組みを加速していきましょう。

キャッチフレーズは、「ひとつ『働き方』を変えてみよう!」

あなたも、仕事のやり方を何か一つ変えてみることで、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現」に向けて、動いてみませんか?

国の仕事と生活の調和に関する情報は、内閣府仕事と生活の調和推進室HP (<http://www8.cao.go.jp/wlb/>) でご覧下さい。



体験報告
脱！メタボ 気になる男性のための
メタボリック症候群対策講座
(事業協力スタッフ企画)
栄養指導とウォーキング指導で
脱！メタボ

10月18日と10月25日の2回にわたって行われたメタボリック症候群対策講座。今や中年の合言葉になった感のある「脱！メタボ」。思わず出掛けてみました。私たち夫婦でも今や大問題になりつつある言葉です。

初日の「食事・栄養篇」では、講師の牧野直子さんのお話は具体的で、とてもわかりやすいものでした。ちなみに、メタボの基準値の説明によると、私は既に突破していました。

まずは、メタボとは何かの説明から、早速食生活を見直すチェックに入りました。一喜一憂しながらチェックを進めていくと、自分自身の食生活の悪い習慣が一気に浮かび上がりました。

そして、バランスのよい食事のと

り方の細かいレクチャー。最後にメタボリック・シンドロームにさよならするための「五つのS」を確認しました。SALT、SUGAR、SNACK、SMOKING、SITTINGです。我が家は、塩と座りっぱなし、砂糖と座りっぱなしにそれぞれ要注意！

二日目の「運動篇」は、天気もよく、明石小学校の校庭が会場でした。上泉義朗さんによるウォーキング指導で、健康的なウォーキングのための基本三項目、①一本線上に足を運ぶ②腕振り③足の作る三角形を意識する、をハッチリ頭と身体に叩き込んでから、野外での実践に移りました。

聖路加ガーデンの河岸から勝鬃橋を渡り、月島河岸から佃大橋へと一回りし、ゴールは元の聖路加ガーデン。みんなで軽い汗をかいて終わりました。

楽しくためになる二日間でした。後はとにかく実践あるのみです。

事業協力スタッフ 橋谷信代

感動報告

男女の違いを笑劇的に解き明かした
ひとり芝居「CAVE MAN」
(事業協力スタッフ企画)

男女のあり方を教わりました

アメリカのブロードウェイでロングランヒットし、世界34カ国で公演が行われ850万人を動員した一人芝居が11月15日にブーケ21で行われ



ました。

内容は、なぜ男は、テレビやゲームにかくも集中し、トイレで新聞を読みたがるのか？なぜ女は、疲れることなくデパートを物色し、お互いの服装をほめ合うのか？その理由を、原始時代にさかのぼり、男性は狩りをする者(ハンター)、女性は収穫者(摘み取る者)であったことから、「ケイブマン」(渡 猛)が説明していくというものでした。

1階会場には若いカップルをはじめ幅広い年齢層の観客が詰めかけました。1時間半の熱演と笑いを通じて男女が互いに歩み寄り、共に生きてゆくヒントを『ケイブマン』が教えてくれました。

女性のための再就職支援講座 二月開催予定

結婚・出産・育児・介護等のため退職した女性の再就職を支援する講

座です。

「子育てがひと段落したので今すぐ働きたい」という方から、「今は育児中で無理だけど、将来に備え準備したい」という方まで、対象別に5コースを開催します。

内容

- ①再就職支援セミナー(履歴書の書き方から求人票の見方まで)
 - ②就職準備セミナー(今からはじめる就職に向けての準備)
 - ③就活コーディネート(就職活動に役立つ身だしなみ)
 - ④社会保険と税金(働くうえで必要な知識を習得)
 - ⑤ストレスマネジメント(ストレスに強い自分作り)
- ※開催日時や申込み方法等、詳しくは1月15日号「区のおしらせ中央」をご覧ください。

※問合せ先

〒104-0043

中央区湊一丁目

女性センター「ブーケ21」内

総務課女性施策推進係

電話 (5543) 0651

FAX (5543) 0652

区ホームページアドレス

<http://www.city.chuo.lg.jp>

男女共同参画リーダー研修を実施しました。



「びゅあ富士」視察

次世代のリーダー育成の新しい事業「男女共同参画リーダー研修」は参加者36名で中央区役所前を出発。女性ネットワークと中央区による共催事業です。バスに乗り込んだ時から研修開始。参加者は6班に分かれ、自己紹介、中央区男女共同参画事業の説明を受けながら山梨県立男女共同参画推進センター「びゅあ富士」に到着。センターの杉山主幹から事業内容の説明を受け、積極的な質疑後、館内を視察し、交流都市富士河口湖町へ向かいました。富士河口湖町女性団体連絡協議会望月会長の指揮のもと班毎に意見交換をし、短い時間の中で、再会を約し紅葉の帰路につきました。

参加者の方々の感想から新しい交

流が始まる気配を強く感じた一日でした。

中央区女性ネットワーク
会長 河本佳子

研修に参加して

広い施設に驚きと真剣な
取り組みを感じました。

安本直子

中央区役所前を8時半に出発し、最初に、山梨県に3か所ある県立男女共同参画推進センターの一つ「びゅあ富士」を見学しました。中央区では考えられないような広い施設に驚くとともに、女性総合相談等、男



富士河口湖町の女性団体の皆さんと

女共同参画に真剣に取り組んでいることがわかりました。次に、富士河口湖町の女性団体の方たちと交流をしました。着物やネクタイを使ったりサイクルをしたり、野鳥の森や樹氷のPR活動などしているとのことでした。有意義な研修でした。

身辺からの男女共同参画の
実践に感服。

櫻井一江

「びゅあ富士」では、パソコン教室で男女がともに学ぶ姿や、滑り台まである託児専用の部屋等、館内から男女共同参画社会を目指す山梨県の力の入りようが窺えました。

また、交流会は富士河口湖町役場にて女性団体の皆様に温かく迎えられる、6班の机に分かれての情報交換会。短時間ながら「男女の自立は料理から」「学童に食育講座を」と、

男性や学童を巻き込んで、男女共同参画を身辺から実践しているとお話には感服。貴重なアドバイスをいただいた思いを強くしました。

地域貢献のよいきっかけになりました。

矢口和幸

私は、入船にあるコンピュータシステム関係の会社に勤めています。今回は、中央区のホームページからこの研修を見つけて参加しました。参加された方々のパワーに圧倒されると共に、皆さんの日頃の活動内容をお聞きでき、有意義な一日を過ごすことができました。

私自身も、この研修での出会いをきっかけに、一緒に活動の方から地域貢献活動のお誘いを受けました。諸先輩方から意見頂きながら、まずはお手伝いから始めたいと思います。

館長雑記

有朋自遠方來 不亦樂乎

今回のリーダー研修では、いろいろな成果がありましたが、その一つに「新しい友人ができた」ということをあげる方も多いのではないのでしょうか。元々の友人と一緒に参加して、さらに親しくなったという方もいらっしゃるかもしれませんね。私も「友人」について改めて考えるきっかけになりました。▼大人である私たちは、すでに様々なつきあいがあり、いまさら、近くや遠くに新しい友人を持つ必要性など、あまり感じないで暮らしています。「何の役に立つのか?」という点では、「友人」という存在は不思議なものです。私たちは友人の値打ちを、「役に立つ、立たない」という尺度では計りません。友人は「使うもの」ではないからでしょうか。▼「近くに親しい友人がいること」、「遠くに親しくなれそうな友人を持っていること」がこんなにも楽しく、毎日の生活のエネルギーの源になることを実感出来たとすれば、きっとそれがこの研修の何よりの成果なのですね。(松川淳子)